

第4回まつり IN 台湾に参加！



2006年11月4日（土）、5日（日）の両日にわたり、中華民国の父 孫文をまつる国立國父記念館中山公園広場 特設会場で「まつり IN 台湾」が開催されました。日本から岩手・富山・広島・高知・沖縄・東京・千葉・京都から十七団地が参加。台湾からも3団体の参加があり、日本と台湾の文化の交流という意味でも、大きな意義を持つイベントでした。当会からメンバーとスタッフ、友の会の会員6人を含めた総勢38名が台湾ツアーに参加しました。



台湾空港に到着後、空港から一路淡水市街に直行。レストランでムール貝と露天の珍しい食べ物にワイワイキャーキャー中国語で書かれたメニューに戸惑いながら、何とか注文をしてかんばん！国外に出て、その国の人と身振りで会話するのも旅の醍醐味。

フェスティバル前日までこの時期珍しい台風の影響で足元が悪かったが、当日の四日は気持ちのいい快晴に恵まれました。「まつり IN 台湾」の会場に向かう前に、台湾の小籠包で有名なお店ティンタイフォンで昼食。行列ができるだけあって味は絶品。デザートにかき氷を食べ満足。いざ、会場へ。控え室のテントに荷物を置きリハーサル開始。本番は午後四時からというのに、観客が集まり、本番の様な緊張感。



演技が始まる前のオープニングセレモニーで出演団体が紹介されました。待機している時に紅型の衣装が目を惹いたのか、報道陣や一般のカメラマンに取り囲まれ、フラッシュの嵐。脚光を集めました。



国父記念館に設営された特設ステージはかなり大がかりなもので、メインステージでの本番の様子や会の活動を知らせるVTR、、出演者の顔のアップはステージ横の大きなスクリーンに映し出されました。

本番は日本と台湾の両国から進行役と通訳を兼ねた司会者がいましたが、伊是名の会の本番中は通訳を立てずメンバーの1名が観客に向けたご挨拶と、演目の紹介を中国語で話しました。渡航前に中国語を特訓した成果もあって、難しい中国語の発音を見事にこなし観客の反応は上々。司会者からインタビューの時に「説明をされた方は普段でも、中国語を使っているのですか」という質問もありました。11月4日と5日に開催された第4回祭りイン台湾は、35000人の観客を動員し大成功を納める事ができました。